

理 由 書

鎌倉市は三浦半島の基部に位置し、南は相模湾に面し、温暖な気候と山・海の豊かな自然に恵まれた都市であり、「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現に向け、「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」を基本理念としています。

第 3 次鎌倉市総合計画第 3 期基本計画の将来目標では「都市環境を保全・創造するまち」を掲げ、実施計画において、緑の基本計画に基づき地域制緑地の指定等による緑地の保全に努めることとしています。

鎌倉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針では、優れた自然的景観を有する緑地や火災の延焼を防止する防災機能及び緑の回廊を構成するビオトープ空間を有する緑地等は、特別緑地保全地区の指定を図ることを方針としています。

また、鎌倉市都市マスタープランにおいては、当緑地について古都保存法以外の法により緑の保全を図ることを方針としており、鎌倉市緑の基本計画においては、深沢地域国鉄跡地周辺地区の背景をなす緑地として、その自然的景観を保全し、低地と丘陵地の市街地を分節して、火災の延焼を防止する防災機能及び緑の回廊を構成するビオトープ空間としての機能を確保するため、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区の指定を目指すこととしています。

こうしたことから、今回、当計画地を、市街地における貴重な樹林地の自然的景観を保全すること、及び地域住民の健全な生活環境を確保することを目的として、本案のとおり特別緑地保全地区を定めるものです。